

トヨタホーム岡山との付き合いは
中学生以来、続いています



トヨタホーム岡山
技術室 設計
もりおか だいすけ
森岡 大輔

私が中学生の頃、トヨタホーム岡山で実家を新築しました。営業の方と両親との打ち合わせの様子、完成までの過程を見ているうちに家づくりに興味を持ったことが、建築の勉強を始めたきっかけです。その後、縁あって就職。父が2軒目もトヨタホーム岡山に依頼し、設計は職場結婚した私の妻が担当しました。1軒目はリフォームして私たちが住んでいます。わが家は、いろいろな商品やアイデアを取り入れたことで、お客様との打ち合わせで実体験に基づいた話ができ、以前より説得力が増したように感じています。物心がついてからトヨタホーム岡山の家で暮らし、就職後も大切にしてもらい、会社には感謝しています。まさに、トヨタホームのブランドビジョンの「Sincerely for You～人生をこいっしょに～」を地で行く感じでしょうか。



my favorite



コロナ禍前は、地域密着の姿勢を大切に、「祭りごと」に参加することが趣味でした。上司が発起人を務める「うらじゃ」は妻と、日本三大奇祭「はだか祭り」は息子と楽しんでいました。コロナ禍では家族と出かけるキャンプがマイブームになっています。



スタッフ紹介

SUENAGA Group

グループ各社で名物スタッフを紹介していきます。今回は「トヨタホーム岡山」の2人です！

精神力が培われました
完走できる体力と
マラソンをはじめて



トヨタホーム岡山
福山展示場 設計
さとう えつこ
佐藤 悦子

新築戸建てで住宅の設計を担当しています。施主様にとってマイホームは人生で最も高い買い物であり、ご自身で図面を描いて来られる方、思い入れが強い方など、十人十色です。私は設計担当として、施主様とのやりとりは、アドバイスをする立場として臨んでいます。どう考えても不都合な場合以外は、施主様のご意向をどれだけ反映させるかが私の勝負のポイントです。広い狭い、明るい暗いとかは感覚の問題なので、難航するケースもあります。だからこそ、打合せや引き渡しの時に「ありがとう」と言われるとうれしいですし、やりがいを感じます。人生に無駄な経験はなく、その一つひとつが回り回って自分の糧になるのかなと思っています。何かあっても走りながら頭の中を整理して、気持ちをリセットしています。



my favorite



中学時代、バスケットボール部に所属し、長距離走が得意でした。今でも運動不足は家の周りを走って解消しています。4年ほど前からフルマラソンを始め、自己ベストは、おかやまマラソンの3時間45分45秒。もう少し速くなりたいと思っています。